



御開自治区会のHPは上のQRコードで閲覧できます。↑

梅雨入りしました

北九州地域は、6月4日に梅雨入りが発表されました（7月初旬梅雨明けの見込み）。
今年は、早い段階から暑くなり、気温40℃超え（酷暑日）も予想されています。

※ 日中の最高気温：「夏日（25℃以上）」「真夏日（30℃以上）」
「**猛暑日（35℃以上）**」「**酷暑日（40℃以上）**」と定義（気象庁）

皆様におかれましては、気温の上昇に留意され、しっかりと熱中症対策（外出を控える、屋外作業の中止、エアコン活用、水分補給など）を講じられ、体調の変化にご注意（ご自身、周囲の方々）の上、異変を感じたら早めの措置をとられるよう、宜しくお願いいたします。

I. 地域からの要望・回答

	地域からの要望	関係機関との折衝状況・回答
1	県道払川折尾線の道路劣化箇所の修復について	まちづくり整備課に現地確認後の修復を依頼しました。別途、陥没修復の完了を確認しました。
2	碓地南町会北公園内の不要樹木伐採について	まちづくり整備課へ地域との連携を図っての対応をお願いしました。
3	相坂町会域内の水路沿いの雑草について	御開水利組合へ除草をお願いしました。実施済。

※ 地域のお悩み、困りごとがありましたら、町会長までご連絡ください。

II. 行事予定

- ① 理事会（毎月第4日曜日 19：00～御開公民館にて開催）
全町会長および自治区会役員により、理事会を開催しています。
次回：令和8年6月28日(日)19：00～
※5月24日は、敬老祝賀会及びおひらきフェスタ開催に向けて今後の進め方を確認しました。

III. お知らせ

① 本城交番だより（6月号より）

	令和8年5月中（5/1～5/20）
交通事故件数	物件事故 39 件、人身事故 5 件
犯罪発生件数	その他盗難 1

② 八幡西区災害発生状況（令和8年4月）（ ）内前年同月比

	令和8年4月30日現在
火災	火災 18 件 + 4 件発生 死者 0 人（0 人）、負傷者 4 人（+1 人） 4 月中の火災状況 3 件発生（建物火災 1 件、その他 2 件）
救急	4,401 件（△557 件）

2026年度 全国統一防火標語「火の確認 いい日を支える いい習慣」

令和8年度危険物安全週間推進標語

「つかみとれ！めざす無事故の頂きを」

IV. トピックス

① 理事会報告

今年度敬老祝賀会対象者（今年度75歳以上の自治区会員）数の調査・確認の上、次回理事会での報告をお願いしました。

次回理事会では、おひらきフェスタの概要及び事前告知のチラシの内容確認をする予定です。

② 新たな防災気象情報の運用を開始

国土交通省と気象庁は、令和8年5月下旬から新たな防災気象情報の運用を開始しました。＜市政だより6/1号より引用＞

- ・警報、注意報の情報名に「**レベル**」を付けて発表
- ・レベル4相当の情報を「**危険警報**」として発表

レベルの数字でとるべき防災行動が一目でわかるようになりました。

※ 市が発令する避難指示などの情報を確認して、危険な場所にいる場合は早めの避難を心がけてください。



防災気象情報に関する気象庁の特設ページ

新たな防災気象情報一覧

警戒レベル相当情報	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の打ち上げによる浸水
5	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報
《警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!》				
4	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報
3	レベル3 氾濫 警報	レベル3 大雨 警報	レベル3 土砂災害 警報	レベル3 高潮 警報
2	レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報	レベル2 土砂災害 注意報	レベル2 高潮 注意報
1	早期注意情報			

高齢者や避難困難者は、レベル3警報段階までに避難

災害が発生したら 避難する時に 気を付けるポイント

足元に注意

道路が冠水すると足元が見えにくくなり、側溝やマンホールに気付きにくくなります。長い棒などをつえ代わりにするなど、十分に注意して歩きましょう。



動きやすく、安全な服装で

ヘルメットで頭を保護し、靴は運動靴にしましょう。裸足・長靴は厳禁です。



川や用水路に近づかない

降雨が続く不安に思っても、川や用水路、田畑の様子は見に行かないようにしましょう。



ハザードマップを確認しよう

住まい、職場、親戚、知人、友人等関係者の居所のハザードマップを把握しておく。

どう行動するか決めておこう

- ① 在宅避難（自宅にとどまる）
 - ・氾濫想定区域に入っていない
 - ・浸水深よりも居室は高い
 - ・水・食料などの備えが十分にある
- ② 安全な場所にある親戚・知人宅へ避難
- ③ 市の避難所へ避難
- ④ 安全な場所にあるホテル・旅館へ避難

備蓄品の準備をしよう

- まずは3日間の備蓄を
- ・燃料：カセットコンロ、カセットボンベなど
 - ・水：3ℓ/日×3日（500ml×18本）
 - ・食料：缶詰、レトルト食品、栄養補助食品など
 - ・その他：懐中電灯、バッテリー、携帯トイレなど